

令和8年度 第3回 東北農政局国営事業技術検討会（再評価）

議 事 概 要

- 1 日 時：令和8年7月10日（金）14:00～14:40
- 2 場 所：仙台合同庁舎A棟7階会議室（宮城県仙台市）
- 3 委 員：角田毅委員長、加藤千尋委員、島谷留美子委員、菅原紋子委員、永吉武志委員
- 4 内 容：

河南二期地区及び旭川地区に係る評価結果書案等について、第1回及び第2回技術検討会の指摘等を踏まえた対応を説明し、委員による審議を行った。
- 5 審議内容：
 - （1）第1回及び第2回技術検討会の指摘等を踏まえた対応について

（河南二期地区）

 - 角田委員長

第1回技術検討会の際、分かりやすさの観点で指摘した維持管理費節減効果に係る表現の工夫について、現況維持管理費との比較等の補足説明が追記されたことで、以前より分かりやすくなった。
 - 島谷委員

第1回技術検討会の際に指摘した、「評価項目のまとめ」の中の一部の記載ぶりについて、適切な表現となり事業による地域への効果が分かりやすくなった。

（旭川地区）

 - 角田委員長

第2回技術検討会の指摘事項に対する修正が丁寧に行われており、特段意見はない。
 - （2）国営事業技術検討会意見とりまとめ
 - 角田委員長

私のほうで事前にとりまとめた、委員長案を読み上げ、その後ご意見を伺い意見をとりとめたい。

【河南二期地区】

本事業は、揚排水機場の改修及び統廃合、幹線用排水路の改修、排水系統の再編及び耐震化対策により、農業用水の安定供給、維持管理の費用と労力の軽減及び湛水被害の軽減を図るものである。併せて関連事業において、ほ場整備による大区画化等により営農の合理化を図ることを目的としている。

事業の進捗状況については、令和7年度までに事業費ベースで7割を超えており、一部施設は完成し供用開始している。未完成施設についても、今後計画的に整備を進めていく予定である。

地区内では、本事業及び関連事業を契機として、スマート農業や乾田直播栽培を導入した効率的な農業経営が展開されているほか、高収益作物の導入、農業法人の経営規模拡大、米の輸出やブランド化、若手・女性を含む担い手の育成・確保など、地域農業の維持・発展に資する取組が積極的に進められている。また、事業で更新した施設には、歴史的な背景から地域資源としての価値も有する円筒分水工などもあり、本事業の多面的な意義を示すものとなっている。

関係団体からの意向に表れているとおり、本事業は地域にとって極めて重要である。今後も引き続き、コスト縮減や環境との調和に配慮しつつ、事業完了に向けて計画的に事業を推進されたい。あわせて、関係団体と連携した営農推進の取組や本事業の重要性に関する情報発信も引き続き進められたい。

【旭川地区】

本事業は、ダム、頭首工及び用水路の改修、大規模地震に対し必要な耐震性を有していない施設の耐震化対策及び用水系統の再編に伴う取水施設の統廃合により、農業用水の安定供給と維持管理の費用と労力の軽減を図るものである。併せて関連事業において、用水路の整備により水利用の効率化や水管理の省力化を図ることを目的としている。

事業の進捗状況については、令和7年度までに事業費ベースで7割を超えており、一部施設は完成し供用開始している。未完成施設についても、今後計画的に整備を進めていく予定である。

地区内では、本事業及び関連事業を契機として、農業用水の安定供給や維持管理の省力化が図られるとともに、農地の集積・集約化、スマート農業技術の導入、高収益作物への転換など、効率的かつ持続的な農業経営に向けた取組が進められている。また、地域農業を担う農業法人や生産組合等により、経営規模の拡大、通年雇用の導入、販売先の多角化、6次産業化、若手の育成や次世代への技術・ノウハウの継承など、地域農業の維持・発展に資する取組が積極的に進められている。

関係団体からの意向に表れているとおり、本事業は地域にとって極めて重要である。今後も引き続き、コスト縮減や環境との調和に配慮しつつ、事業完了に向けて計画的に事業を推進されたい。あわせて、本事業や施設管理の重要性に関する情報発信も引き続き進められたい。

○ 角田委員長

それでは、委員の皆様から意見ををお願いします。

特段ご意見がないようなので、この文面をもって検討会の意見とする。

○ 事務局

地区別評価結果（案）について、技術検討会の意見を踏まえ、「事業の実施方針（案）」を検討する。

最終版については、委員の皆様にもメールで報告予定。

（以上）